



8月20日、本県の児童養護施設「いわつき」で行われた若手お笑い芸人さんによる「よしもとコミュニケーション講座」を西山淳次、蒲生徳明、石渡豊、権守幸男の4人が視察しました。

吉本興業の「オオカミ少年」のコンビと、「かがくと森田君」、「清水バージョン」の4人の若手芸人が、約1時間半、子供たちをあの手、この手で巻き込んで爆笑させながらコミュニケーション力を養うという素晴らしい企画でした。

児童養護施設の子どもたちが自立していくには、自分を表現し、他者と交流するコミュニケーション能力が不可欠です。堅苦しい話ではなく、芸人さんと触れ合い、笑いながら、子供たちは何かを感じ取ったのではと思います。

それにしても、お笑い芸人さんの人を巻き込む能力には脱帽です。我々議員としても大いに参考になりました。施設の子ども達もいずれ社会の荒波に船出していかななくてはなりません。彼ら、彼女らの未来に幸多かれと祈らずにはいられません。